

そら組 保育参加

R3/11/13

ドキドキワクワクの入園・進級の4月から、早7か月がたちました。初めは保育者のそばで遊んでいた姿から、今では離れて遊ぶようになり、友達にも興味を持ちはじめ一緒に遊ぼうとする姿が見られるようになってきました。身の回りの事も自分でやってみたいという気持ちが見られるように…。おうちの方と一緒にお子さんの成長を喜び合える楽しい半日にしたいと思います。

そら組での成長

自己主張

園生活や保育者にも慣れてきて、自分の思いが出せるようになってきました。友達にも興味が出てきて関わろうとする姿も見られるようになってきました。出した気持ちがぶつかり合ってしまうこともあり、時として「かみつきの」「ひっかきの」として現れることもあります。私たちは、そういう行動をとった子どもの思いを成長のひとつとして受けとめ、その上で「貸して」「見せて」など言葉で思いを少しずつ表現できるよう援助を、1年通して心がけています。言葉で自分の思いが出せるようになるのを待ちながら、**友だち作りの過程**を、一緒に見守って頂けたらと思います。そして、「かみつきのこと」や「ひっかきのこと」は、友だちは”痛いんだよ” ”いけないよ”ということ、その都度しっかりと伝えるようにしています。



自我の芽生え

大人の言うことをなんでも素直に聞いていた赤ちゃんの



時期から、「いや」「自分で」と反発する姿が多くなってきます。関わり方の難しさを感じることもあるかもしれません。しかし子どもの発達にとっては「自分」を意識し始めた、とても大切な姿です。子どもの気持ちに寄り添い、褒めたり認めたり見守ったりしながら子どもの成長を家庭と園と一緒に支えていきましょう。

トイレトレーニング

一人ひとりの様子を見ながら、便器に座っています。だんだんと排尿間隔が長くなり、オムツの中で排尿する回数が減ってきます。トイレで排尿できるようになってきたら、パンツに移行していききたいと思います。その時期になりましたら、個々にお知らせしていきますので、パンツの用意（ズボンなどの着替えも多めに）をお願いします。（パンツはトイレトレーニングパンツ等の厚いものではなく、綿の薄手のものが着脱しやすいです。）トイレで排泄できた時には、一緒に喜び「次もしてみよう」と思えるよう励ましながら、一人ひとりのペースに合わせて進めていききたいと思います。



自分でやってみたい

身の回りのことに興味を持ち「じぶんでやりたい」気持ちが見られるようになってきました。その気持ちを受け止め、じっくりゆったり関わりながら進めていききたいと思います。おうちでも一緒に取り組んでみてくださいね。出来た時には大いに褒め喜びを共感していただくとお子さんも嬉しく、やる気にも繋がっていきます。



22日から個人懇談会がはじまります

保育園ではどんな様子なのかな？おうちでの姿とは違うのかな？何して遊んでいるのかな？…と、懇談会ではそんなことも話題にしながら、お話ができるのを楽しみにしています。新しい発見があるかもしれませんね♪
どんな些細なことでも構いませんので何でもお気軽に相談してくださいね。

ゆきぐみ・そらぐみ・あかぐみ おやつ試食会レシピ

【フレークバー】 (幼児1人分)

マシュマロ	10 g
バター	2.5 g
コーンフレーク (無糖)	10 g

バターを溶かし、マシュマロを入れて、かき混ぜながら溶かす。コーンフレークを加え混ぜ、バットに押し広げ、冷めたら切り分ける

※ あかぐみはりんごのコンポート(離乳食)になります。

